

令和6年度学校評価（自己評価）前期結果

(1) 学校の全体について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	A B C D				点	改善点及び対策等	R5.7月
			A	B	C	D			
①学校の姿	学校の教育方針や情報などが、学校報などで保護者（地域）に分かりやすく伝えられているか。	●学校の指導方針がわかりやすいか。 ●学校の情報が、分かりやすく伝えられているか。	人 11 3 0 0	% 79 21 0 0	95		88		
②児童・生徒の姿	学校生活において、児童・生徒は生き生きと活動しているか。	●学校行事において、協力し合って活動しているか。 ●休み時間や給食時、部活動中に生き生きと活動しているか。	人 6 8 0 0	% 43 57 0 0	86	学校のために取り組む姿（主体的な挨拶運動・きまりを守るための工夫）が見られた。今後も、そうした活動を期待したい。児童の活躍できる場を意図的に設定して鍛えあげ、大勢の前でも堂々と自分を表現できる子を育成したい。 各行事でのふり返り発表は、それぞれの頑張りを認め合い、温かな気持ちで終わることができる。全体の場での発表練習にもつながり大変効果的である。	88		
③教職員の姿	教職員は、お互いに協力しながら児童・生徒の指導にあたっているか。また、来校者に誠実な対応をしているか。	●運動会や学校祭などの学校行事の際、協力し合って指導している場面が見られるか。 ●進んであいさつやことばかけをしているか。	人 11 3 0 0	% 79 21 0 0	95		93		
④学校の環境整備	学校内外の環境整備が行き届いており、児童・生徒が快適で安全に学校生活が送れるようになっているか。	●環境美化に関する配慮が見られるか。 ●学校全体が、整理・整頓されているか。 ●学校全体の安全が確保されているか。	人 2 11 1 0	% 14 79 8 0	77	地震によって被害を受けた箇所の修復が進まない状況にある。 雑巾がけの洗濯ばさみが壊れているのが気になる。雑巾をかけて挟むのならば洗濯ばさみを交換する必要がある。挟まないのならばとった方が良い。 枯れた花の植木鉢が放置されていることがあるので、庁務員さんに目を配ってほしい。	86		
⑤学力向上へ取り組む姿	基礎学力調査等を受けて、具体的な取り組みや指導法の改善が行われているか。	●結果分析を行っているか。 ●結果を生かし工夫改善をしているか。	人 7 6 0 0	% 54 46 0 0	88	学校全体で「自分の力で学ぶ子の育成」を目指した授業を積み重ねる（授業改善）。 教師が普段している業者テストの点数アップを意識することが学力向上にもつながると考える。事前ミニテストで間違えそうなところを確認したり、ドリルパークで復習したりして、平均90点以上を目指したい。	89		
⑥働き方改革へ取り組む姿	多忙化解消に向けた働き方改革を進めているか。	●業務内容の精選等、教材研究や児童と向き合う時間を確保しているか。 ●定時退庁日・最終退校時刻・会議終了時刻の設定等、計画的な業務を進めているか。	人 5 6 3 0	% 36 43 21 0	79	会議の開始時間が終業時刻を過ぎていることがあった。私はその会議に出席する必要のない人間だったが、自分なら出席できないと思った。 月に2回は定時退校日を設け、意識を高めている。 放課後に教材研究する時間が欲しいです。	84		

(2) 授業の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	A B C D				点	改善点及び対策等	R5.7月
			A	B	C	D			
⑦児童・生徒の姿	児童・生徒が学習内容を理解しようと意欲を持って学んでいる様子が見られるか。	●授業中、教師の話や友達の発表をしっかりと聞いているか。 ●学習ルールが守られ、よい雰囲気での学習しているか。	人 1 9 3 0	% 8 69 23 0	71	学年によって学習規律の定着や学習に向かう姿勢に差が見られている。授業改善と合わせて児童の学びに向かう姿を改善していきたい。 すべての教職員は絶えず声かけをしていると思うが、学習ルールや心から聞く姿をもって引き出し、よい雰囲気での学習できるように、手をかえ品を変え全教職員で試行錯誤していかなければならない。あきらめない。 最後までしっかりと聞く力が弱い。聞き方表を確認しながら繰り返し指導していく必要がある。 3年生は6割くらい。授業以外の静止がなかなかむずかしいです。がんばります。	71		
⑧教職員の姿	児童・生徒が学習内容を理解できるようなわかりやすい授業であるか。	●児童・生徒一人一人に言葉かけをするなど適切な指導を工夫しているか。 ●授業内容が黒板にわかりやすくかかれているか。	人 3 10 0 0	% 23 77 0 0	81	児童に学びを委ねる場を設定する授業では、これまで以上に単元導入時及び各授業の課題設定の場で、課題解決に向かう意欲（「解決したい」「うまくなりしたい」など）を高めることが肝心である。*「わくどき導入」	82		

(3) 授業以外の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	A	B	C	D	点	改善点及び対策等	R5.7月
⑨ 児童・生徒の姿	児童・生徒は、集団生活に必要なきまりや約束を守っているか。	●元氣よく挨拶ができて いるか。 ●登下校時には、正しい 服装やきまりある行動を しているか。	人 0	12	2	0	71	なぜ、このようなきまりがあるのか。きまりを守らないとどうなるのか、個人→友達→学校→社会の視点で考えさせて、きまりは守るものだと伝えていきたい。 児童会発案の廊下を走らない立札作戦は大変効果的だった。今後も、児童会と一緒に、より良い学校にするにはどうすればよいのかを考えて取り組んでいきたい。 3年生は6割くらい。善悪の判断が難しい人多いです。がんばります。	70
⑩ 教職員の姿	教職員は、児童・生徒の手本となる言動をしているか。	●児童・生徒に対し、正 しい言葉づかいがされて いるか。 ●TPOに応じた服装を しているか。	人 7	7	0	0	88		80

(4) 保護者・地域との連携について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	A	B	C	D	点	改善点及び対策等	R5.7月
⑪ 教職員と保護者との関係	教職員は、保護者や地域の方と連携をしながら関わっているか。	●学校は、地域の活動に協力的であるか。 ●教師と保護者の関係は良好か。	人 8	6	0	0	89		88
⑫ 教育活動の地域活用	学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用しているか。	●学校は、地域の歴史、自然等を活用しているか。 ●学校は、地域の人材を活用しているか。	人 6	7	1	0	84	CSのサポート事業を通して「地域の教育資源」の活用が進み、地域との関わりは深まってきている。 コミュニティ・スクールのサポート事業によって、各学年において地域の人材を活用することができている。	84

(5) 独自の活動について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	A	B	C	D	点	改善点及び対策等	R5.7月
⑬ 読書活動の充実	読書環境の充実を図ること で、児童の読書意欲に結 びつけているか。	●読書環境の工夫が見ら れるか。 ●読書の定着は見られる か。	人 12	2	0	0	96		93
⑭ 健康の保持増進	健康に対する実践的な能 力と態度を育てている か。	●感染症拡大防止や健康 課題の改善に向けた児童 の意識が高まったか。 ●教師は、必要な精密検 査や治療の勧告を継続停 に行っているか。	人 8	6	0	0	89		86